

# 令和3年度第1回鶴岡公園環境整備懇談会 鶴岡公園桜等樹木更新計画について



令和3年6月8日

鶴岡市都市計画課

# 鶴岡公園桜等樹木更新計画について

## 1. 目的

鶴岡公園の桜は、平成2年には「さくら名所100選」にも選定され、今年のコロナ禍の中でも8万人の来園者があり賑わいをみせている一方、植樹から115年余りが経過し、ソメイヨシノの寿命といわれる130年が近づき老木化が進んでいる現状にあります。

また、堀端など、将来を見据えて老いた桜の脇に若い桜を植樹していますが、適度な植樹間隔がとられていないため、樹木の生育に適しておらず、必ずしも全ての桜が健全で良好な状態であるとは言えない状況となっています。

このことから、桜樹木調査の結果をふまえ、桜の健全な育成に向けた更新計画を策定し、鶴岡市を代表する桜の名所として次世代に伝えていきます。

## 2. 桜樹木調査結果

鶴岡公園全体の桜725本のうち北ブロックの522本を対象として調査を実施しました。

その結果、A判定（健全）の樹木は全体の約3割であり、残りの約7割の樹木は不定根や膏薬病等の被害が見受けられており、倒木等の危険性のあるB2（著しい被害がある）及びC（不健全）の樹木が、全体の約1割となっています



表1 総合評価判定

総合評価	全 体 (本)
A 健全か健全に近い	160 (30.6%)
B1 注意すべき被害がある	314 (60.2%)
B2 著しい被害がある	41 (7.9%)
C 不健全	7 (1.3%)
計	522

# 鶴岡公園桜等樹木更新計画について

## 3. 更新の考え方

### (1) 基本となる方針

鶴岡公園の桜のイメージとして市民からの印象の強い「ソメイヨシノ」をメインとした公園とし、既存のソメイヨシノを保全するとともに、調査により、倒木等の危険性が高いと判断された桜は伐採し、植替えの際は植栽間隔を確保しながら行います。

### (2) 品種の選定

現在の桜並木の景観を保持していくため、植替え品種についてもソメイヨシノを選定しますが、現状の植栽間隔が狭く、間隔の確保が難しい場合は、類似品種のコシノヒガンなどの比較的中型の品種も選定の対象とします。

### (3) 植栽間隔の確保

現況は植栽間隔が近いことから、隣同士の枝が密接しています。また、危険木等の伐採をした場合、同箇所にも補植しても植栽間隔が近く若木の成長に影響がある場合は、植栽間隔が概ね8m以上になるよう調整しながら実施します。

## 4. 更新計画

10年間をかけて、ブロックごとに総合判定評価が、著しい被害がある、及び不健全と判定された桜を対象に、周辺の景観に著しい変化がないよう配慮しながら、更新作業を実施します。(図2 ブロック別更新計画)

樹木の更新本数は、A判定の樹木160本を除く、B1判定以下の362本を対象に、短期計画による伐採(伐根)は3ヶ年で、剪定は樹勢を整えることを目的に各ブロック毎に実施。

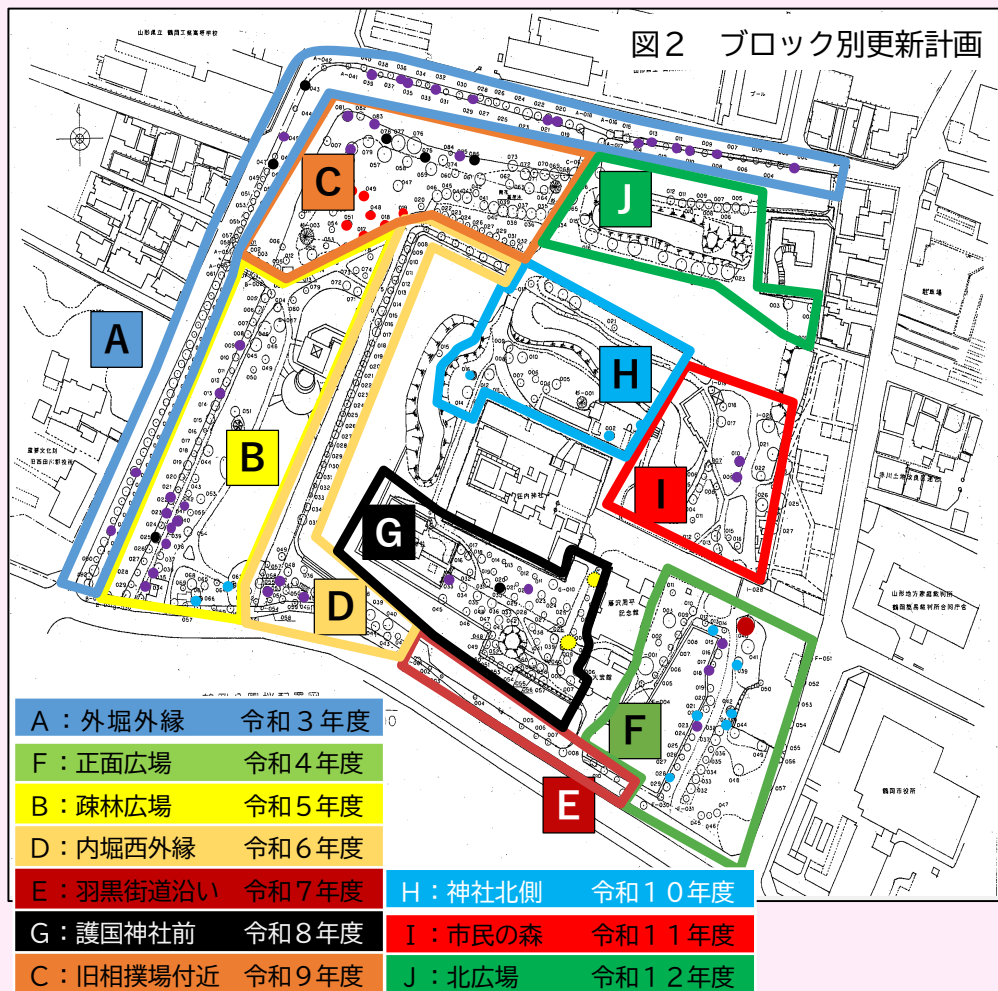
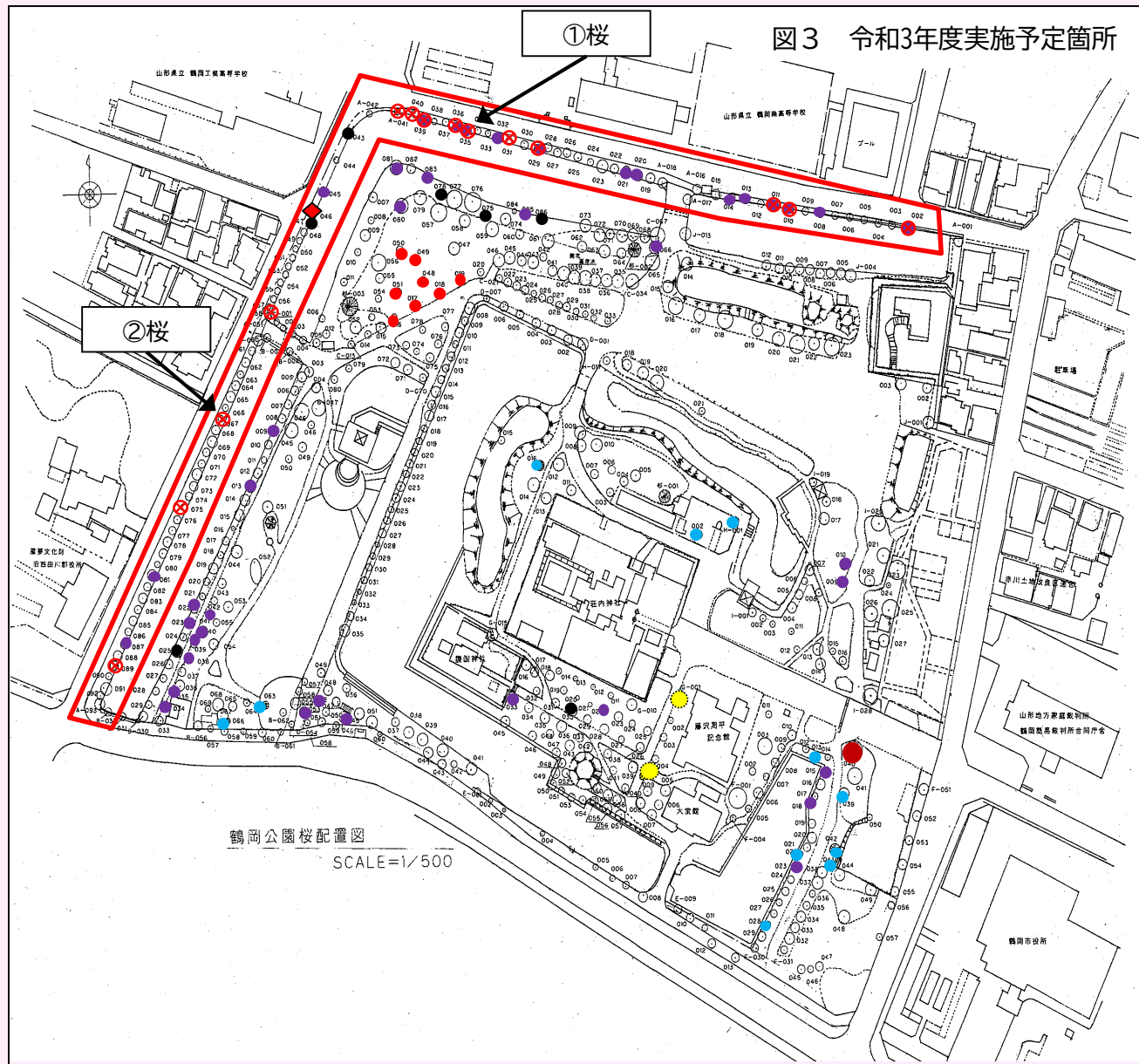


表2 樹木の更新本数

当初本数	伐採(伐根)	剪定	補植	計画本数
522	48	314	6	480
		362		

# 鶴岡公園桜等樹木更新計画について

## 5. 令和3年度実施予定



### 令和3年度整備内容

- ⊗ 伐採・伐根: 14本
- 剪定: 23本(赤枠内)
- ◆ 補植: 1本



①桜 A-039 (伐採予定)



②桜 A-067 (伐採予定)